

博士前期課程（修士） / 実践看護学領域 / 子どもと家族の看護学分野 科目コード：230012					
子どもと家族の保健医療福祉特論 Health and Welfare for Child and Family					
担当教員	西村 真実子、武山 雅志、鈴木 敦子、熊谷 有紀子、明橋 大二				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	2	授業形態	講義
必修・選択	選択	時間数	30		
Keywords					
学習目的・目標	科目のねらい 目的：現代社会における子どもと家族をとりまく諸問題を取り上げ、その実態や背景、および保健・福祉・医療・教育における対応、課題について学ぶ。 目標：１）育児不安や子どもの虐待、不登校等の子どもと家族に関する問題の実態や背景、対応、援助、予防について理解する。 ２）子どもの養育環境や子ども時代の体験の重要性を認識し、関連する諸問題の予防において効果的な支援やケア(治療的対応)について考察する。				
授業計画・内容					
回数	授業内容				
1,2	子どもの虐待予防概説(文献１) 1. 定義、類似概念、統計、歴史、発生要因 2. 虐待されて育つとは/虐待のある家族 3. 子どもの虐待対応システム 虐待的養育環境の影響：生き残りの代価,役割にしばられるAdult children(文献１)				
3,4					
5	子どもの虐待における精神力動的及び生物学的要因(文献5) 1) 自己意識と自己同一性 2) 養育者の子どもへの歪んだ認知				
6,7	3) 攻撃性、暴力、非行、犯罪 アセスメントⅠ：子ども、親、家族関係、親子相互作用(文献2～4)				
8	アセスメントⅡ：虐待としてみることの弊害、ライフイベント、認知パターン、抑うつ				
9	(文献2～4) アセスメントⅢ：コーピング、被養育体験(文献3)				
10	虐待予防のケア(治療的対応)に役立つ知識：認知行動療法				
11	虐待と関連深い精神障害と治療、被虐待児/虐待に悩む親への治療やケア				
12	幼少期の傷つき経験の影響と対処(文献6) 1) 「先取り不安」とうまく付き合う 2) 「バンダリー」の認識 3) 自分の中の「怒り」をこわがらないようにする 幼少期の傷つき経験の影響と対処(文献6)				
13	1) 自分の「思い込み」を点検する 2) 「罪悪感」のワナから抜ける 3) 「くしゃくしゃになった」自分を手当てする 不登校の実態とその対応				
14	諸外国における虐待等の問題とその対応				
15					
教科書					
参考図書等	1 スティーブン・ハーマー、白根伊登恵訳：ほんとうの「私」のみつけかた、NAC協議会、2000 2 ケビン・ブラウン他、上野昌江他監訳：保健師・助産師による子ども虐待予防「CAREプログラム」乳幼児と親のアセスメントに対する公衆衛生学的アプローチ、明石書店、2012 3 北村俊則編集：事例で読み解く周産期メンタルヘルスケアの理論、医学書院、2007 4 インスー・キム・バーク、磯貝希久子監訳、家族支援ハンドブックソリューション・フォーカスト・アプローチ、金剛出版、2007 5 メアリー・エドナ・ヘルファ他、社会福祉法人子どもの虐待防止センター監修、坂井聖二監訳：虐待された子ども The Battered Child、明石書店、2003 6 季刊びい Be! (依存症・家族・A C …回復とケアの最新情報)、ASKヒューマン・ケア 7 山口県健康福祉部：みんなでネットワーク 子ども虐待防止に関わる援助関係者の連携マニュアル 改訂版、2006。 8 ジュディス・L・ハーマン：心的外傷と回復 増補版、みすず書房、1999				
評価指標	1. 出席状況、授業への参加状況 50％ 2. プレゼンテーションおよびその資料 50％				

関連科目	
教員から学生への メッセージ	